

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援元気キッズ志木教室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月9日		2026年 2月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18 (回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2026年 2月9日		2026年 2月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様一人ひとりに合った支援の提供	教室ミーティングにて、職員全員でアセスメント実施。お子様の様子を共有し、支援方法を統一している。また、毎月1回以上、研修も行なっている	ミーティングにて事例検討を元にした研修を実施し、より実践に繋がりがやすい支援方法をみんなで考えていきたい
2	職員間の情報共有が密に行われている	毎日の朝礼と終礼にてその日のお子様の様子、月に2度の教室ミーティングにて支援計画や保育の見直しをして、密に連携を図っている。ミーティングを欠席した職員は議事録を確認し、共有を図っている。	BCP点検表や日々のチェックリストを作成する。また、改善点を視覚化にして周知し、すぐに改善できるように社員/非常勤関係なく、誰もが把握できるようにしていきたい。
3	毎日美味しい給食を食べることができる	毎日調理の職員が手作りの給食を月替りで食べることができる。行事食を通して季節が感じることができるよう、献立を工夫している。子どもに人気のメニューは共有して、より食べることへの意欲が出るように働きかけている。	人気メニューを定期的にレシピとして、おたよりに配布して家庭でも実践できるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他施設との交流する機会が少ない	不定期で毎年、開催しているため、全利用者が交流できる機会を設けることができていない。	・主活動である公園での活動でも、交流する機会を設けていく。 ・交流を目的としたイベントの確立をしていく。
2	保護者同士の交流の機会が少ない	保育参観や茶話会にて、保護者の交流する機会を設けているが、保育参観での交流を図ることが難しい。	職員も保護者の集まりに加わりながら、交流がさかんになるような機会を設ける。
3	子育てに関する助言の機会が少ない	面談は定期的に募っているが、希望される方が一定数で決まってきてしまう	引き続き、面談は定期的に呼び掛けていながら、直接でなくても電話対応等ができることも周知して様々な形で寄り添っていきける環境を作っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援元気キッズ志木教室
------	-----------------

公表日 _____ 年 月 日

利用児童数 20(内兄弟児2家庭)

回収数 18(内兄弟児2家庭)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1	0	0	広さを求めたらきりが無いかも知れませんが、リトミックをしてる時にぶつからないか心配になります。	ご意見ありがとうございます。リトミックでは身体を大きく動かすことがあるため、活動内容に応じて、人数を分けて広く安全に取り組めるように配慮していきたいと思えます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	0	0	1		基本的には、お子さん2人に対して職員が1人配置できるように、設定しております。ですが、お子さんの様子に合わせて配置を調整させていただき、安全に過ごせるように配慮させていただく場合もございます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	0	0	2		室内はできる限りお子さんたちが、集中できるように壁面を最小限にしております。また、角の危ない箇所にはコーナパッドを付けてたり電気のスイッチにはカバーをつけたりと安全を確保させていただいております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	0	0	1	玄関の小さい踏み台を椅子として座る子生足で乗る子、玄関の板張りも土足で乗る子がいるため、その辺を徹底してもらえると嬉しい	ご意見ありがとうございます。小さな踏み台に関しては、土足を可能としています。座る際には雑巾等で拭いてから対応できるようにしていきたいと思えます。板張りは基本的には靴を脱いで使用するため、お子さんたちにも分かりやすいように視覚で提示できるようにしたいと思えます。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	1		毎月掲示しているおたより等で、プログラムの詳細をお伝えしています。具体的な詳細は載せていないため、お気軽に職員へお声がけいただければとお子さんに合わせた支援方法をお伝えしていきます！
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	16	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	0	0	2		個別支援計画の留意事項の欄へ本人/家族/移行支援の記載はさせていただいております。また、こういう支援がしてほしい！というご要望がございましたら、職員へお声がけいただけますと、幸いです。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	0	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	0	2	1		年に数回、元気キッズの系列の保育園や近くの老人ホームの方々との交流会を行事を通して取り組んでおります。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	4	0	0		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1	0	0		

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	0	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか、また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	2	1	2	保護者の会としては、茶話会の中で交流ができるように毎年取り組んでおります。兄弟間の交流に関しては、日々の生活の中で遊びの時間や集団活動時に取り入れております。保育参観等の際に兄弟間の様子についてもお伝えできるようにしてまいりたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	0	0	0	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	0	0	0	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	1	個人情報に関しては、必ず施錠できる書棚に管理していることや外部とのやりとりをする際には必ず保護者の方の同意を得た上で厳重に取り扱っております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	0	0	0	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	0	0	1	毎月1回保育の中で避難訓練を行っております。避難訓練時にはお子さんの様子や実際の避難の仕方等もお伝えできるよう、配慮させていただきたいと思っております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0	
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	0	0	1	擦り傷、切り傷等は送迎時に必ず保護者の方へ、直接お伝えするように配慮しております。また、大きな怪我をしてしまった際はお電話にて保護者の方へ様子をお伝えし、病院への受診をしたりお迎えに来ていただいたりご協力をお願いすることがございます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	0	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	0	0	0	
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	0	0	0	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援元気キッズ志木教室		年 月 日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	日々の掃除、及び整頓により、子どもたちが活動しやすい空間となっている		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0			
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	ミーティングでの共有や朝礼終礼での共有があり、分かりやすい		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0			
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0				
12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0				
13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	ミーティングで子供の発達状況を共有し、全体で把握できるようにしている			
14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0				
15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0				

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	朝礼でその日の活動に関する留意点や動きを共有している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	—	—		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	—	—		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	—	—		
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	0			

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	不定期で系列の保育園と行事(豆まき)で交流をしている。また、公園での活動時に他の保育園と交流をすることもある	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	・研修情報を玄関に貼り出し、周知を図っている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	・茶話会や参観の開催	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・毎月元気だより発行	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	・年2回のイベントには、一般の参加も可能として、開催している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	児発管が職員へ丁寧に周知をした上で、薬を預かっている	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	今年度はアレルギー対象児は不在だが、対応は可能としている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		

応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	元気だよりでの周知、避難訓練を実施した日は、その時の出来事をボードに書いて保護者へ伝えている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	ミーティングにて虐待防止研修を行なった	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0		